

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（信州吉野電機株式会社）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合は理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			差別がないように、当社のCSR規定「SYD-CSR 2.2雇用における均等」に規定している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			・就業規則(第1章第4条)に規定 ・年2回の面談・有事の際の相談体制あり					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			・就業規則(第3章第1節)に規定 ・1日8時間勤務、時間外労働は上司の許可が必要								8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			・SYD-CSR 2.2雇用における均等に規定 ・外国人労働者の文化や宗教に配慮している					4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の仕組みにて取り組みしている				3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			・年1回のストレスチェック、産業医からの指導を実施			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・多様な人材が活躍できるよう、育児休業、時間短縮勤務制度あり ・障害者雇用にも積極的取組実績あり				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			・「教育訓練基準」を設定し、それに基づいた教育訓練制度あり ・「人材」ではなく人在りきの「人財」と考え、先行投資を行っている ・技能検定合格者、約67名(2026.1現在)			4	5.5			8	9										
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			・定めた雇用条件と業務内容に差異がない様、確認している				5.5			8.5		10.2 10.3									
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・年1回健康診断実施(安全衛生計画にて)実施 ・産業医と契約し、健康管理、メンタルヘルスに投資 ・人間ドックの奨励、補助金制度あり ・SYD-CSR 4.安全衛生管理に規定			3					8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			・ISO14001認証取得(廃棄物管理基準)に規定し取り組んでいる											11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			・ISO14001認証取得(環境設備・エネルギー管理基準)に規定・長野県事業活動温暖化対策計画書制度に提出済み							7.3					13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			・ISO14001認証取得(環境設備・エネルギー管理基準)に規定・長野県事業活動温暖化対策計画書制度に提出済み							7.2 7.3				12.4	13.3						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			・ISO14001認証取得(環境関連物質管理基準)に規定し取り組んでいる			3.9		6.3					11.6	12.4							

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			・ISO14001認証取得(環境関連物質管理基準)に規定し取り組んでいる								6.6								15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			・ISO14001認証取得(廃棄物管理基準、省エネ・省資源管理基準)に規定し取り組んでいる												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・ISO14001認証取得(省エネ・省資源管理基準)に規定し取り組んでいる					6.4	6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)			・ISO14001:2015認証取得			3.9		6	7						12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)			・ホームページにて環境理念、環境方針、環境活動を公開している http://www.syd-tech.jp/company/index02.php											12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・社用車に2000年からハイブリッド車を採用						7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・金属材料調達時は、使われている鉱物に紛争鉱物が無いよう、精鍊業者までさかのぼって調査実施(コンフリクト・ミネラル調査)、方針をホームページに公開 http://www.syd-tech.jp/conflict/											12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・汚職・贈収賄・不正競争の禁止について、「SYD-CSR 3.2事業の誠実性、3.8贈答・接待」に規定している															16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・不正競争、癩着などの禁止について「SYD-CSR 3.3 不正当利得の禁止、3.9個人的利益相反」に規定している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			・知的財産の保護について「SYD-CSR 3.4知的財産権」に規定している							8.2	8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			・個人情報保護法などの対応について「SYD-CSR 3.6個人情報」に規定している																	16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)			・精鍊業者までさかのぼって調査実施(コンフリクト・ミネラル調査)、方針はホームページに公開 http://www.syd-tech.jp/conflict/																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・環境活動の協力要請をしている					5		8	10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)	【予定】		2026年3月を目指し、社内体制を整備中			3					8	9	10							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
生分解性プラスチック製品開発によるプラスチック汚染の防止		・生分解性プラスチックを使ったゴルフティーを開発、一般販売。それを足がかりに、生分解性プラスチックを使った製品開発ノウハウを蓄積し新たな製品へ展開予定												12		14	15		
人材育成を通じた社員の能力と働く意欲向上		・社員1人1人の向上意欲をくみ取り、技能検定への挑戦を促進。のべ67名の有資格者あり			4.4				8.2 8.5										
廃棄物の削減、省資源活動推進による環境貢献		・IATF16949、ISO9001、ISO14001を経営に融合、それらをベースに不良品削減活動、廃棄物のリサイクル化、省エネの推進を実施。											12		14	15			

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバансカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材C02固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※ 1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※ 2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定